

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

第9回 議事録要旨

1. 日 時: 平成16年7月12日(月) 9:30～12:30

2. 場 所: 地方職員共済組合 栃木県職員会館 ニューみくら 201会議室
栃木県宇都宮市昭和1-3-6

3. 検討内
容: 1. 第7回議事録要旨
2. 真岡BP工区 各調査結果
3. 真岡北BP工区 各調査結果
4. ミヤマウズラの経過報告

4. 議事要
旨: 1. 第7回検討会議事録要旨
○ 了承された。

2. 真岡BP工区

2-1)オオタカ調査結果

<繁殖失敗の要因の検討>

- メス - オス交代の際にメスへの餌運びがされていると仮定する。他県の事例の場合、メス - オス交代が連続しているため、給餌も連続して行われていたと考えられる。A地区の場合、4月22日から26日までメス - オス交代がなく、給餌は少なかった可能性がある。
- カラスに卵を取られたのは繁殖失敗の原因そのものではない。オオタカが巣にいない時間が長くなり、結果的にカラスに卵を取られたと考えられる。失敗の原因はエサ不足によるストレスが考えられる。
- メスのオオタカは、転卵等をちゃんとしていたので、繁殖に不慣れとはいえない。抱卵中に巣上に立つ行動は、ストレスが生んだ行動と考えられる。
- 西側に広がっていた行動圏は工事によって変化し、エサ不足が生じたと考えられる。
- 1月下旬には雌雄の営巣林への執着がみられたため、4月下旬の産卵は遅いと考えられる。繁殖期初期におけるエサ不足、造成工事のストレスなど、抱卵に入れない原因があった可能性がある。

< 繁殖失敗の要因 結論 >

- 繁殖失敗の要因は、繁殖期全体を通して、エサの供給不足、外的要因によるストレスの点から記述すべきである。

< その他 >

- 対比例として挙げている他県の事例では、孵化した日数を書いた方が良い。
- 抱卵交代のグラフで、A地区の場合と他県の事例のメス - オス交代、メス - メス交代の色が逆であり対比しづらい。各交代の色を統一してほしい。

2-2) サシバ調査結果

- 了承された。

2-3) オオムラサキ調査結果

- 今後オオムラサキの保全については、地元との連携の可能性を含め、方針を検討していく。

2-4) 工事の現状及び工事計画

- 平成 17 年 2 月までに終了する工事については了承された。
- 今後の工事は、基本的に繁殖期(3~8月)を避けてもらいたい
が、やむを得ない場合には3月よりも8月に実施してもらいたい。
- 次回検討会で河川工事の図面を添付する。

2-5) 今後の調査結果

- 了承された。

3. 真岡北バイパス工区

3-1)オオタカ調査結果

< 営巣地の保全 >

- B地区南の巣は何らかの理由で自然落下したと考えられる。
オオタカが近隣の樹林で繁殖できるような森林管理が必要であり、県や真岡市の環境部局に働きかけてもらいたい。

< C地区の利用 >

- 南個体は、営巣林周辺だけでは行動圏が狭いと考えられ、C地区やその西側に行動圏が広がっていると考えられる。
また、植生がモザイク状に分布するC地区を狩り場などとして利用している可能性がある。
- 以上より、本文の10ページの「狩り場の消失や分断は起きない」は、「狩り場の消失や分断は部分的に起きる」という内容で修正すべきである。

< 北個体 >

- 北個体は、昨年に引き続き営巣林とその西側の谷津田から営巣林東側の畑地、東側にある樹林の範囲が主要な行動圏であると考えるべき。
- 以上より、計画路線がオオタカに与える影響は小さいと考えるべき。

3-2)サンバ調査結果

- 4月調査では谷津田斜面林での執着がみられ、6月には枝運びが確認されているため、繁殖を試みた個体が存在すると考えることが自然である。
- 以上より、本文12ページの「繁殖地への移動途中であった個体、繁殖を試みたが失敗してしまった」は、「C地区でこれまで確認された個体は、繁殖を試みたが失敗し、消失した」という内容で修正すべきである。

3-3)貴重植物調査結果

- 了承された

3-4)オオムラサキ調査結果

- 了承された

3-5)工事の現状及び工事計画

- 平成 16 年 12 月までの工程は了承された。
- 今後オオタカ南個体の行動と計画路線の関係については、モニタリングを行い、状況を確認していく必要がある。
他の個体については、これまでの結果では計画路線が与える影響は小さいと考えられる。

3-6)今後の調査結果

- 了承された

4. ミヤマウズラ経過報告

- 移植場所、時期を含めた具体的な保全計画は、来年春頃には計画を提案したい。

5. その他

5-1)第 10 回検討会

- 第 10 回検討会は、真岡宇都宮バイパス工区を対象として 8 月下旬を予定する。

5-1)第 11 回検討会

- 第 11 回検討会は、真岡バイパス・真岡北バイパス工区を対象として 10 月下旬～11 月上旬を予定する。

5-3)指摘事項の修正

- 記述修正の指摘を受けた箇所については、記述を修正して座長及び委員に承認を得る。